

解答・解説

問1 傍線部の文の構造を検討する。

以^{述語}示^{目的語(誰に)}玉^一人^一

傍線部には主語（誰が）がないので、「私が」を補う。また、「以^レ之^レ示^二玉人^一」の「之（＝目的語）」が省略されているので、「玉を」を補う。「私」は「献^レ玉者（＝宋人）」であるから、「玉を献上した者（＝宋人）」が、玉を、玉石細工の匠に示した」ということになる。

主語、目的語、誰に・何をの解釈がすべて正しい。(○)

ア 手に入れた玉を宋の人が玉石細工の匠に見せたところ、ということ。

主語、目的語(誰に)が間違っている。(×)

イ みがき上げた玉を玉石細工の匠が宋の人に指し示して、ということ。

宋人は玉を子罕に献上した。(×)

ウ 宋の人からもらった玉を玉石細工の匠が見てみると、ということ。

玉人は玉を宋人に与えておらず、玉人は「示」の主語でもない。(×)

エ 宋の人に与えた玉を玉石細工の匠が持ち出してきて、ということ。

よって、正解はア。

問2 傍線部の句形を確認し、文の構造を検討する。

仮定 述語 目的語(誰に) 主語 述語 目的語(何を)
 若^レ以^レ与^レ我[、] 皆^レ喪^レ宝^也。

仮定形「若A」もしAならば。

前半には主語（誰が）がないので、「あなたは（＝献^レ玉者＝宋人）」を補う。また、「若以^レ之^レ与^レ我^{」の「之（＝目的語）」が省略されているので、「玉を」を補う。後半の「皆」は、子罕と宋人。それぞれの「宝」は、子罕が「不^レ貪」、宋人が「玉」である。}

ア 子罕が玉を受け取ると、宋の人は信条を失うということ。^{宋人が失うのは「玉」という財宝である。(×)}

宋人が子罕に与える。(×)

イ 宋の人に玉を与えると、子罕は財宝を失うということ。^{子罕が失うのは「不貪」という信条である。(×)}

誰に玉を与え、それぞれが何を失うかの解釈がすべて正しい。(○)

ウ 子罕が玉を受け取ると、子罕は信条を、宋の人は財宝を失うということ。

宋人が子罕に与える。(×)

エ 宋の人に玉を与えると、子罕は財宝を、宋の人は信条を失うということ。^{それぞれの失うものが逆である。(×)}

よって、正解はウ。

漢文の世界

対句表現

漢文では対句表現が好まれる。この文章で言えば「我以^レ不^レ貪為^レ宝、爾以^レ玉為^レ宝」で、「以^レA為^レB」（AヲもつてBトなス＝AをBだと考える）」という句形をベースにしながら、「我」と「爾」、「不^レ貪」と「玉」が対になっている。これによって、対照・強調の効果を与える。なお、六朝時代から唐代中頃にかけて、全文が対句で構成されている「駢儷文」が盛んに作られた。

出典

春秋左氏伝

注釈書。孔子の編纂と伝えられる歴史書『春秋』の代表的な注釈書で、春秋時代を理解する重要な資料。作者は魯の左丘明と言われるが定かではない。

13

復習

「春秋左氏伝」

解答・解説

句形Q
省略Q
解答と現代語訳

宋人^ニ或^リ得^テ玉^ヲ献^{ズルモノ}。諸子^ニ罕^カ弗^レ受^ケ。献^{ズル}玉者^ハ曰^{ハク}、

宋の国の人に、玉石を手に入れて、これを子罕に献上した者がいた。

子罕は玉を受け取らなかった。

玉石を献上した者が言った、

以て宝と為す。

「以^テ示^{スニ}玉^{ギョク}人^{ジンニ}。玉人^ニ以^テ為^{ナス}宝^ト也。故^ニ敢^{ヘテ}献^ズ之^ヲ。」子罕^ハ曰^{ハク}、

「玉を玉石細工の匠に見せたところ、匠は上質な宝玉だとみなした。

だからわざわざこれを献上するのです。」と。子罕は言った、

我は貪らざるを以て宝と為し、

若し以て我に与へば、

「我^ハ以^テ不^ル貪^ラ為^シ宝^ト。爾^ハ以^テ玉^ヲ為^ス宝^ト。若^{モシ}以^テ与^{ヘバ}我^ニ、皆^ハ喪^ナレ

「私は過度に財宝を集めないことを宝だと考えており、あなたは玉石を宝だと考えている。

もし宋人（あなた）が玉を私に与えるなら、

人ごとに其の宝を有するに若かず（と。）

宝^ヲ也。不^レ若^{シカ}人^{ゴトニ}有^{スルニ}其^ノ宝^ヲ。」

みな宝を失うことになる。（だから私が受け取って宝を失うよりも）人々がそれぞれの宝を持っているほうがよい。」と。

書き下し文

宋人^{ソウジン}に玉^{タマ}を得^エて諸^{しよ}を子罕^{シカン}に献^{けん}ずるもの或^{ある}り。子罕^{シカン}受^うけず。玉^{タマ}を献^{けん}ずる者^{もの}曰^いはく、「以^{もつ}て玉人^{ぎョクジン}に示^{しめ}すに、玉人^{ぎョクジン}以^{もつ}て宝^{たから}と為^なす。故^{ゆゑ}に敢^あへて之^{これ}を献^{けん}ず。」と。子罕^{シカン}曰^いはく、「我^{われ}は貪^{むさぼ}らざるを以^{もつ}て宝^{たから}と為^なし、爾^{なんぢ}は玉^{タマ}を以^{もつ}て宝^{たから}と為^なす。若^もし以^{もつ}て我^{われ}に与^{あた}へば、皆^{みな}宝^{たから}を喪^{うしな}ふなり。人^{ひと}ごとに其^その宝^{たから}を有^{いう}するに若^しかず。」と。

語句Q
解答

ア 読み〓ず 意味〓ない

イ 読み〓ゆえに 意味〓だから